



学びに向かう力
の育成を目指す

学びのBest Balance



「主体的・対話的で深い学び」の一層の充実を図り、
一人一人に確かな資質・能力を育成するために

個別最適な学び

子供が自分に合った学び方を選び、
自己調整しながら主体的な学びを進める

★子供が最適な学び方を選択するためには、
子供の実態や発達、教科や単元の特性などを
視野に入れた、単元構想と準備が必要です。

★子供がどんな学びをしているか、
見方・考え方を働かせているか、
全ての子供が目標を達成しているかを
見取ることが大切です。

協働的な学び

多様な他者と関わり合い、学び合い、
考えを広げ深めてよりよい学びを生み出す

★子供たちの学びの深まりや新たな課題発見
につながるよう、
学びを関連付けながら学
習を進めていくことが大切です。

★その教科や単元で付けたい資質・能力に全
員が達するために、
見取りをもとにした適切な教師の関わり
が必要です。

一体的
に充実

協働的な学びが充実するための個別最適な学び

自己の学びの質を高めるための協働的な学び



様々な「ベストバランス」を意識しましょう

- ◇教師の指導と子供の主体
- ◇基礎・基本の定着と活用力の育成
- ◇インプットの間とアウトプットの間
- ◇デジタルとアナログ
- ◇一斉学習と個別学習など

学びの基盤 ◇ICTの活用 ◇生徒指導の4つの視点 ◇多様性への配慮 ◇学習環境の整備